



白糸財産区だより

白糸財産区だより
第 31 号
令和2年1月1日
発行 白糸財産区
印刷 株式会社いんさつ

年頭によせて

富士宮市白糸財産区管理者
富士宮市長 須藤 秀忠



新年明けましておめでとう
ございます。

皆様におかれましては、輝
かしい新春を迎えられたこと
とお慶び申し上げます。

日頃から白糸財産区の管理
運営はもとより、市政運営に
対しましても多大なる御理解
と御協力を賜り心から感謝申
し上げます。

今、多くの分野において「持
続可能」という言葉が掲げら
れています。これは、第五次
富士宮市総合計画の将来都市
像「富士山の恵みを活かした

元気に輝く国際文化都市」の
実現に向けて、環境、産業な
どの分野別の基本目標と政策
を掲げた本市の取組の方向性
と一致しております。我々は、
本市の将来が実り多きものと
なるように、大きな視点から
見つめつつ、市民の幸せの実
現に向けて、着実に、そして
確実に、この実現に向けて歩
みを進めていかねければなら
ないと考えています。

財産区有林の将来を考えて

白糸財産区議会議長 佐藤 俊治



新年明けましておめでとう
ございます。

白糸区民の皆様方には、常
日頃、財産区運営等にご協力
とご尽力をいただき感謝申し
上げます。

本年もよろしくお願い申し
上げます。

さて、平成三十一年三月に
「森林環境税及び森林環境議
与税」の法律が出来まして、
森林経営に明るさも見えてき
ましたが、令和元年十月には
消費税率が引き上げられ、森

外経済の不確実性、金融資本
市場の変動の影響に留意する
必要があり、消費税率の引き
上げ、相次ぐ自然災害が経済
に与える影響も懸念されます。

このような状況の中、本市
においては、第五次富士宮市
総合計画の後期段階に入りま
したことから、なお一層の将
来都市像の実現に向けて、先
見のかつ積極的な取組を行っ
てまいらなければならぬと思
っています。

そのためにはまず、白糸会
館建替事業が第一の取組であ
ると考えます。現在、地質調
査及び詳細設計が完了し、令
和三年四月の供用開始を目指
して、いよいよ建設工事が始
まります。

続いて白糸ノ滝売店集約化
事業については、新しい売店
エリアに八店舗分の区画を整
備し、第一期と第二期に分け
て店舗を移転する計画です。

現在、第一期として四店舗の
建築工事が行われており、今
作業道を開設することが困難
な場所があります。また、作
業道が森林に与えるダメージ
も少なくなく、さらに森林の
土地を削ることになるため、
結果的に植林面積が減ること
にもつながります。

こういった場合、架線集材
システムが有効です。トラッ
クに積載されたタワーヤーダ
(支柱となるタワーとウイン
チを組み合わせた装置)を立
てて架線を張り、エンジン付
きのリモコン式キャリヤーで搬
出します。

実際に木材の搬出作業を視
察しましたが、実にスムーズな
うえ、安全に搬出していました。
今後事業委託をして行く
中で、費用対効果も考慮しな
がら、それぞれの山林の地形
に適した集材方法を取り入れ
るなど、効果的な作業実施に
努めますので、区民の皆様方
のご理解、ご協力をお願い申
し上げます。

急傾斜地が多い山林では、

春オープンの予定です。
白糸自然公園については、幅
広い世代の方が憩う公園とし
て、四季折々の花々、バラ園な
どの魅力あふれる公園づくり
を行い、今後の更なる整備活
用法について検討を進めます。
さらに、高度情報化を進め
るため、上井出・白糸・猪之頭
地域において民間通信事業者
が実施する光ファイバー網整備
事業に対し補助を行い、三月に
はサービスが開始されます。
林業振興としましては、富
士ヒノキの販路拡大を図ると

持続可能な 財産区運営に

副議長 竹川 精一

新年明けまして おめでとう
ございます。

議員となつて六年、広範囲
な区有林のパトロールや、間
伐体験・広葉樹の植樹体験に
加え、財産区運営の収支、林
業管理の流れを議員の立場で
経験しています。

財産区設置から六十年余
り、還暦も過ぎ、先人が撫育・
整備された樹木も伐期を迎
え、逐次伐採が行なわれた資
金で白糸地区の振興に寄与し
て来ましたが、近年の売り払
い収入は厳しい状況にあり、
財産区の運営管理に携わる事
務局は英知・工夫を重ね、業
者各社の知恵と協力を頂きな
がら運営され、報告を受ける
議員として、又、一区民とし
て感謝しています。しかしな
がらあまりに広い面積と急峻
な斜面で、枝打ちや間伐が行
き届かない森もあり、森林管
理・運営の難しさが積年の課
題となっております。

国内では、昨今の自然災害
による、倒木をはじめとした
被害も耳にしますが、当財産
区の被害は極めて少なく、地
域性に加え、山の神にも守ら
れていることを実感していま
す。オリンピック関連の施設

とともに、富士ヒノキの家・宮
クーボン事業において、SGE
C森林認証材の使用等への上
乗せ助成を行い、更なる地域
材の利用を促進しております。
今後におきましても、魅力
あふれるまちづくりを進める
ために白糸地区の発展に全力
で取り組んでまいりますの
で、皆様方の変わらぬ御支援
を賜りますようお願い申し上
げますとともに皆様の御健勝
を祈念申し上げ、新年の挨拶
といたします。

も完成が進み「各所に国産木
材の活用を」の呼び掛け効果
は今後に継続してほしいもの
です。

東京都では地震対策として
ブロック塀等の改修や更新に
際し、木材を活用した塀や柵
が仕様に入り、設置ガイドラ
インとなつていきます。また、
液状化対策として丸太を地中
に打ち込んで地盤の密度を増
大させ、地震時に発生する地
盤の液状化を防ぐ使い方も始
まっています。丸太を地下水
位以下に埋めているので、空
気との接触がなくなり、木材
の弱点である腐朽を防止で
き、千葉県内の住宅地などで
採用実績があります。

林野庁は国産木材の活用を
促すため、住宅メーカーや工
務店、家具メーカー、木材流
通業者などに対し、設備投資
や運転資金の確保を後押しす
る方策を行い、木材建築技術
の底上げを促すほか、木質バ
イオマス燃料に使う発電事
業の拡大も目指し、木材需要
を底上げする姿勢を始めまし
た。近年の傾向で住宅の壁に
使う針葉樹合板の国産材生産
量が過去最高を更新している
そうです。環境保護意識の高
まりから伐採量の制限などで
南洋材の輸入が減り、国産材
がシェアを伸ばしています。
国の内外を問わず「木にはぬ
くもりがあり治癒力がある」

効果が認められながらも、林
業は関心が低い傾向にありま
すが、今後、林業を活性化し
ていくためには、木材の付加
価値向上・需要拡大に産学官
で取り組んでほしいと思いま
す。作業現場の機械化と効率
化、ドローン活用・林道整備
も課題です。

富士宮市も市議会もSDG
s(持続可能な開発目標)の
取り組みを始めました。その
一環として木材の活用は重要
なテーマのひとつです。防災・
CO2削減効果・生態系維持・
水資源保全・地域景観などが
考えられます。

効率的な間伐や伐採による
良質な木材の生産、治山治水
や環境に配慮した樹木の育
成、森林浴等の森林活用にも
引き続き興味を持って勉強し
ていきます。

白糸会館(出張所)建て替
え整備も進んでいくことで
しょう。今年も次代につなげ
る財産区議員となるよう務め
たいと思います。



財産区有林大日向裏間伐作業の様子



財産区議員及び関係者による「山の神」祭事

適正な白糸財産区運営を目指して

白糸出張所長 佐々木 博

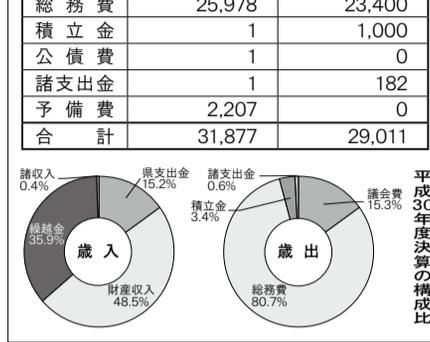
謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り誠にありがとうございました。

白糸出張所長を拝命して一年九ヶ月が経ちます。周りの職員はもとより、財産区議会議員の方々や区長を始めとした地域住民の皆様、お付き合いのある各種団体の方々、大勢の方々のご恩情とご配慮により、どうか勤めてきました。二年目でございますので、白糸出張所の勤務にも慣れ、地域にも随分と馴染んでおりますが、財産区運営、特に財産区有林管理等に関しましては、さらに経験を重ね、まだまだ勉強してまいります。

さて、白糸財産区ですが、昭和三十三年四月一日の富士宮市との合併に伴い、同年七月一日に特別地方公共団体として設立されました。管理者は富士宮市長です。財産区の運営につきましては、財産区議会が設置され、年三回の定例議会を開催しております。また、議会運営委員会を毎月開催し、協議及び報告を行い、財産区運営の円滑化を図っております。

今後も継続した適正な区有林管理のため、国・県の補助

財産区の予算・決算		
歳入		
区分	平成31年度当初予算額	平成30年度決算額
県支出金	4,887	6,593
財産収入	14,992	20,987
繰入金	1	0
繰越金	11,995	15,537
諸収入	2	192
合計	31,877	43,309
歳出		
区分	平成31年度当初予算額	平成30年度決算額
議会費	3,689	4,429
総務費	25,978	23,400
積立金	1	1,000
公債費	1	0
諸支出金	1	182
予備費	2,207	0
合計	31,877	29,011



財産区有林大日向裏の間伐材「SGEC」認証材の市場

費用として活用します。実を言いますと、森林環境譲与税は、昨年四月一日から課税に先がけてスタートしております。令和元年度の富士宮市への配分は、約二、三〇〇万円とのことで、市ではまずもって、現状の森林を取り巻く状況を調査、把握し、森林整備に関する計画策定を進めていくようです。白糸財産区をはじめ森林管理者への享受は、まずのことはあります。今後の動向について注視してまいります。

森林環境税は、国内に住所を有する個人に令和六年度から年額一、〇〇〇円が課税されます。森林環境譲与税は、名称に譲与とあるように森林環境税の収入額が、市町村と都道府県に譲与されます。市町村は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用として、都道府県は、森林整備を実施する市町村の支援等に関する

新しい白糸会館は、現在の建物の南側に建設いたします。建設工事の出張所事務につきましても、これまでと同様の運営となりますが、駐車場の狭くなることからご不便をおかけしてしまうかもしれません。どうぞご理解のうえ、ご容赦いただけますと幸いです。結びに、微力ではございますが、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう業務に邁進してまいります。至らぬ点も多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

一方、出張所ですが、住民票や戸籍等の各種証明書の発行や、転入・転出等の住民異動及び戸籍等の各種届出の受付窓口を備え、市役所本庁の出先機関として、地域住民の皆様と密接した施設です。現在、令和三年四月の供用開始を目指して白糸会館（出張所）建替事業が進行中で、詳細設計を終え、いよいよ建設工事に掛かります。新

昨年、山崩れや倒木は、上井出財産区議員との二回目の合同研修を行い、お互いの財産区の概要、議員活動（奉仕活動）、財産区有林のパ

昨年、山崩れや倒木は、上井出財産区議員との二回目の合同研修を行い、お互いの財産区の概要、議員活動（奉仕活動）、財産区有林のパ

区有林植付け作業に携わって 土木委員長 平石 邦夫

区民の皆様には、日頃より白糸財産区へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。 昨年の活動状況を簡単ではありますが、ご紹介させていただきます。 令和元年十月、財産区有林大助（大倉川ダム西側）において、白糸財産区議員及び

区有林の倒木について、意見交換し有意義な会議となりました。十月は、大倉ダム西側の財産区有林内の「大助」に、高野議員さんの重機をお借りし、クヌギ二百本、コナラ百五十本、イロハモミジ五十本の植栽を実施しました。 さて、話は変わりますが、昨年は台風十五号や十九号の上陸や台風の影響を受けた低気圧の大雨により、土砂災害や河川の堤防決壊など様々な自然災害が発生しました。その結果、大勢の尊い命が奪われ、未だに避難生活を余儀なくされている方も多数おります。また、農作物にも甚大な被害が発生しております。このような災害を報道を見た直後に、定例である区有林のパトロールに行き、山崩れや倒木はないかと注意深く確認を行いました。白糸財産区有林は、日頃から間伐等を実施し、山の手入れを行っているため、

区有林の倒木について、意見交換し有意義な会議となりました。十月は、大倉ダム西側の財産区有林内の「大助」に、高野議員さんの重機をお借りし、クヌギ二百本、コナラ百五十本、イロハモミジ五十本の植栽を実施しました。 さて、話は変わりますが、昨年は台風十五号や十九号の上陸や台風の影響を受けた低気圧の大雨により、土砂災害や河川の堤防決壊など様々な自然災害が発生しました。その結果、大勢の尊い命が奪われ、未だに避難生活を余儀なくされている方も多数おります。また、農作物にも甚大な被害が発生しております。このような災害を報道を見た直後に、定例である区有林のパトロールに行き、山崩れや倒木はないかと注意深く確認を行いました。白糸財産区有林は、日頃から間伐等を実施し、山の手入れを行っているため、

財産区議員による林道修繕

財産区有林大助地先の植栽作業

ともあり、大変有意義な時間となりました。 今後も、区有林に苗木を植付け、維持管理をするなどの作業を継続的に実施していくことにより、山林保護に貢献していきたいと思っております。

区有林の倒木について、意見交換し有意義な会議となりました。十月は、大倉ダム西側の財産区有林内の「大助」に、高野議員さんの重機をお借りし、クヌギ二百本、コナラ百五十本、イロハモミジ五十本の植栽を実施しました。 さて、話は変わりますが、昨年は台風十五号や十九号の上陸や台風の影響を受けた低気圧の大雨により、土砂災害や河川の堤防決壊など様々な自然災害が発生しました。その結果、大勢の尊い命が奪われ、未だに避難生活を余儀なくされている方も多数おります。また、農作物にも甚大な被害が発生しております。このような災害を報道を見た直後に、定例である区有林のパトロールに行き、山崩れや倒木はないかと注意深く確認を行いました。白糸財産区有林は、日頃から間伐等を実施し、山の手入れを行っているため、

財産区有林大助地先の植栽作業

区有林の倒木について、意見交換し有意義な会議となりました。十月は、大倉ダム西側の財産区有林内の「大助」に、高野議員さんの重機をお借りし、クヌギ二百本、コナラ百五十本、イロハモミジ五十本の植栽を実施しました。 さて、話は変わりますが、昨年は台風十五号や十九号の上陸や台風の影響を受けた低気圧の大雨により、土砂災害や河川の堤防決壊など様々な自然災害が発生しました。その結果、大勢の尊い命が奪われ、未だに避難生活を余儀なくされている方も多数おります。また、農作物にも甚大な被害が発生しております。このような災害を報道を見た直後に、定例である区有林のパトロールに行き、山崩れや倒木はないかと注意深く確認を行いました。白糸財産区有林は、日頃から間伐等を実施し、山の手入れを行っているため、